

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業内容

事業名	郡山ジュニアオーケストラをサイトウキネンフェスティバルに招待する
事業主体 (連絡先)	非営利活動法人 日本チェルノブイリ連帯基金 電話 0263-46-4218
事業区分	③教育・文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,569,165 円 (うち支援金 : 877,000 円)

2014年8月21日～23日、郡山ジュニアオーケストラを松本に保養招待する。松本で開催中のサイトウキネンフェスティバルの青少年プログラムに参加する。2日目は四賀村の会田中学で演奏会を行い、中学生と交流する。演奏を通じて東北震災の被災地と、松本の中学生が相互理解を深め、安心、安全な社会づくりを担う若者の意識を高める。



自業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 郡山ジュニアオーケストラのメンバーとその家族をサイトウキネンフェスティバルのプログラムである「子どものための音楽会」に招待することができた。小澤征爾の指揮や、プロの演奏を聞くことができ子供たちの演奏意欲が増した。この経験は将来にも希望を与えたと思う。
郡山のオーケストラを招待し、松本の会田中学と交流したことによって、放射能を避けて留学している子供が住む四賀の方にも中学生にとっても、東北への関心が深まったと思う。それにより理解も深まった。
- ② 今回の交流に関して松本市内の四賀支所、会田中学市内で活躍する松本交響楽団の協力を得て演奏会が実現できた。具体的には楽器運搬、会場、楽器の提供など。
- ③ 四賀村は音楽活動が盛んな地域でもあり、子供のオーケストラの演奏会を聞くことでより演奏意欲を増し、地元の音楽活動にも刺激を与えた。地元の方も演奏会に参加してくださった。
- ④ 郡山は今現在も放射能に苦しむ住民が多く暮らすため保養を兼ねての音楽交流は、とてもリラックスし楽しんでいただけたと思う。

【 目標・ねらい 】

- ① サイトウキネンフェスティバルのプログラムへの招待
- ② 地元の学生との交流
- ③ 地域の活性
- ④ 放射能を避けた夏の保養

※自己評価 【 A 】

【理由】

市と県の協力もありサイトウキネンフェスティバルのプログラムに参加できた。当初予定していた会田中学の吹奏楽部との交流は、急遽変更になったが、中学の在校生や先生方との交流ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

共に学都である福島と音楽交流を続けていきたい。

福島はオーケストラだけでなく合唱も盛んな地域である。今回楽器運搬をお手伝いしてくださった松本市内の楽団と協力してコンサートも可能ではないかと思う。あらゆる世代が被災地との交流し、より理解が深まり、どんな未来を作っていけば良いか？どんな地域づくりをしてゆけば良いか？震災を経験した方々からも学ぶ事ができる。例えば四賀地区は四賀コンサートを地域ぐるみで取り組んでいる。地域内の老若男女で結成された合唱団、中学の吹奏楽部と一緒に被災地で活躍する子供達と音楽交流する事も

可能である。地域活性と相互理解をより深めていきたい。

今年はサイトウキネンフェスティバルに関わる事が出来たので、次年度も音楽を通じてより広く福島のことを伝えてゆきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある